



南関中スピリッツ

「自分の限界に挑戦！チャレンジ南関中」

南関中学校学校便り

自主 創造 友愛

NO. 5 (文責 永杉尚久)

心のきずなを深める月間

6月は「心の絆を深める月間」です。生徒同士や生徒と教職員の相互理解を通して、互いの絆を深め学校からいじめを解消していく目的で県下一斉に設定されています。

本校では、次のような取組を行って小さな変化を見落とさないよう心がけています。

- 担任による教育相談
- 生活ノートでの毎日のやりとり
- 心と体の振り返りシート
- 生活アンケート
- 道徳の授業(友情・信頼・相互理解等)



取組の中で気になることは、全職員で共有し家庭と連携しながら早期解決に努めていきます。ご家庭において気づかれたことがありましたら、本校の相談窓口(野口・松崎)または担任等へ遠慮なくご相談ください。

引き渡し訓練

6月4日に実施しました。保護者の皆様には、平日にも関わらずご協力いただきまして有り難うございました。初めての試みでしたので、試行錯誤のところがたくさん有り、保護者の皆様に長い時間お待たせするなどご迷惑をおかけしたことをお詫び致します。訓練で見えてきた課題を整理し、生徒たちの安全を最優先した対策を講じていきたいと考えています。お気づきがありましたら、学校までお寄せください。



待機場所に電子黒板やタブレットを置き、迎えに来られた生徒氏名を表示しました。名前を確認した生徒は、順次下校しました。



迎えに来られた車が県道までつながらないように進入経路を考えましたが、校門付近がスムーズに流れないため、改善の必要があります。(検討中です。)

今日の論語

子曰く、「性相近きなり、習ひ相遠きなり。」と。

先生は、言われた、「人の生まれつきの性質は、皆大差がない。後の習慣で、大きな差がつくものだ。」と。

孔子は、私たちに目標を持って努力することの大切さを教えてくれています。天才や偉人といわれる人たちは、生まれつきの才能を持っていると思われがちですが、そうではないのです。

努力(学習)することで力を付け、成果を生み出しています。

私たちが、自分の夢をなし得るかは、日々の努力を行っているか、いまいかにかかっています。

努力する力・習慣は、だれもが意識して身に付けることができる能力の一つです。中学生のこの時期に身に付けられればと願います。

努力

教育実習生、奮闘中！！

先週より二名の実習生が本校で教育実習を行っています。

内山 葉奈さん(社会科 二年一組HR担当)
河内 瑠那さん(美術科 三年二組HR担当)

お二人とも、南関中学校の卒業生です。生徒たちの先輩として、教科の指導だけでなく休み時間に話をするなどいろいろな面で関わっていらっしゃいます。

お二人は、来週十八日までの期間、授業の準備や学級経営等で忙しくされていますが

生徒たちには積極的にコミュニケーションを取り、大学の将来につながるお話も聞いて欲しいと思います。

